

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちやいんどえっく上小埜		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 3日		～ 令和8年 2月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 3日		～ 令和8年 2月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育の実施	指導員と子供が1対1で向き合える環境の中で特性や発達段階に合わせた療育を行っている。また、個別支援計画をすり合わせている。	職員の進め方をお互いに見せ合いやりかたにずれがないかの確認を行いながら質の向上を目指している。
2	集団療育の実施	『認知』『言語』『運動』の3つの領域を中心に働きかけ、楽しく集団活動に参加できる内容の充実を図っている。	職員間で進め方を統一し子どもたちが混乱しないようにしている。
3	活動の様子の作成・配布	個別支援計画における現状を文章化し、活動の様子は年度で伝わりやすいようにしている。	事業所同士で情報交換しながら質の向上につなげている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が少ない	地域の方と関わる機会があまりない。	地域の方と交流する機会を考えていく。
2	園庭が狭い	一度にできる遊びが制限されのびのび身体を動かさない。	散歩や近くにある公園に行く機会を増やしている。
3			